

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 2 区分

【発行日】平成27年7月9日(2015.7.9)

【公開番号】特開2013-254051(P2013-254051A)

【公開日】平成25年12月19日(2013.12.19)

【年通号数】公開・登録公報2013-068

【出願番号】特願2012-128677(P2012-128677)

【国際特許分類】

G 0 3 B 21/00 (2006.01)

G 0 9 G 3/36 (2006.01)

G 0 9 G 3/20 (2006.01)

G 0 2 F 1/13 (2006.01)

【F I】

G 0 3 B 21/00 D

G 0 9 G 3/36

G 0 9 G 3/20 6 8 0 C

G 0 9 G 3/20 6 8 0 E

G 0 9 G 3/20 6 3 2 F

G 0 2 F 1/13 5 0 5

【手続補正書】

【提出日】平成27年5月18日(2015.5.18)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 2 9

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 2 9】

プロジェクター 2 A , 2 B がそれぞれ複数のガイド 3 A , 3 B を記憶している場合には、例えば第 1 のプロジェクター 2 A が、プロジェクター 2 A , 2 B からそれぞれ異なるガイド 3 A , 3 B が投射されるようにプロジェクター 2 A , 2 B を制御する構成であっても良い。また、例えば、第 2 のプロジェクター 2 B が、第 1 のプロジェクター 2 A から投射された第 1 のガイド 3 A を識別し、第 1 のガイド 3 A とは異なる第 2 のガイド 3 B を投射する構成であっても良い。また、第 1 のプロジェクター 2 A が複数のガイド 3 A , 3 B を記憶し、第 2 のプロジェクター 2 B に第 1 のプロジェクター 2 A から投射する第 1 のガイド 3 A とは異なる第 2 のガイド 3 B を送信して投射させる構成であっても良い。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 3 6

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 3 6】

図 5 は、スクリーン S C に投射されたガイド 3 A , 3 B を示す。上述したように、第 1 のプロジェクター 2 A は、第 1 のガイド 3 A を歪み補正がなされない状態における最大投射可能領域の端から所定量のマージンを開けた位置に投射する。これにより、第 1 のプロジェクター 2 A は、第 1 のガイド 3 A を十分な大きさとで投射することができる。また、第 1 のガイド 3 A を最大投射可能領域の端から所定量のマージンを開けた位置に投射することで、マージンの分だけ第 1 のガイド 3 A を拡大させる余地を得ることができる。これにより、例えば第 1 のガイド 3 A と第 2 のガイド 3 B とが部分的に重なった場合でも、この

マージンの分だけ第 1 のガイド 3 A を拡大させることができ、第 1 のガイド 3 A の内側に第 2 のガイド 3 B が収まるように容易に調整することができる。

また、第 2 のプロジェクター 2 B は、補正がなされた状態の投射領域であって、補正がなされない状態における最大投射可能領域よりも狭い投射領域の縁に第 2 のガイド 3 B を投射する。これにより、図 5 (A) に示すように、スクリーン S C 上で第 2 のガイド 3 B が第 1 のガイド 3 A よりも外側にはみ出す可能性が低い。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0041

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0041】

次に、ユーザー操作により、スクリーン S C に投射された第 2 のガイド 3 B の台形補正等の歪み補正を行い、第 2 のガイド 3 B の形状を調整する（ステップ S 4）。

ここで、ユーザーは、スクリーン S C に投射された第 1 のガイド 3 A と、第 2 のガイド 3 B との配置状態を視認して、第 2 のガイド 3 B が第 1 のガイド 3 A の内側に収まっていない場合には、第 1 のガイド 3 A の内側に第 2 のガイド 3 B が収まるように、第 1 のプロジェクター 2 A 及び / または第 2 のプロジェクター 2 B を調整する（ステップ S 5）。

なお、フローチャートには示していないが、制御部 131 が、第 1 のガイド 3 A または第 2 のガイド 3 B に関する調整の要否を、撮像部 143 が撮影したスクリーン S C の撮影画像に基づいて判定する構成であっても良い。具体的には、制御部 131 は、撮像部 143 の撮影画像データに基づいて、第 1 のガイド 3 A の内側に第 2 のガイド 3 B が収まっているかを判断する。そして、第 2 のガイド 3 B が第 1 のガイド 3 A の外側にはみ出ている場合には、第 1 のガイド 3 A の内側に第 2 のガイド 3 B が収まるようにプロジェクター 2 A 及び / または第 2 のプロジェクター 2 B の調整を要すると判定する。このように、第 1 のガイド 3 A または第 2 のガイド 3 B に関する調整を要すると判定した場合には、制御部 131 は、図 7 に示すように、ユーザーに第 1 のプロジェクター 2 A 及び / または第 2 のプロジェクター 2 B の調整を促す案内表示 5 をガイド 3 A , 3 B に重ねてスクリーン S C に投射する。案内表示 5 は、例えば、案内画像として記憶部 142 に予め記憶され、制御部 131 の制御に基づいて光変調装置駆動部 135 は、記憶部 142 に記憶された画像データに光変調装置 124 を駆動させて案内表示 5 をスクリーン S C に投射させる。ここで、制御部 131、光変調装置駆動部 135、光変調装置 124 は、案内表示 5 をスクリーン S C に投射する案内手段として機能する。